

# 2023 年度事業報告

自 2023 年 4 月 1 日  
至 2024 年 3 月 31 日

当協会は、第 11 回定時総会において、施工管理事業、品質管理事業、広報事業を骨格とする 2023 年度の事業計画と約 6,000 万円(断熱特別会計を含む)の予算を決定し、これに基づき以下の事業を実施したので報告する。

新たな技術図書の検討、既存建築物における屋根ふき材の耐風診断・耐風補強技術評価に関する研究への協力などを行ったほか、折板屋根の新たな屋根 30 分耐火構造認定取得に向けた作業を進めた。引き続き金属屋根・外壁に関連する各種技術情報を積極的に公開した。

## 1. 組織運営

### (1) 会議

事業計画の円滑な執行を図るため、次の会議並びに委員会を運営した。

表 1 会議・委員会

会議・委員会	所管事項
正副会長会議	事業及び予算執行に関する事項
審査委員会	技術審査の問題作成、可否の判定に関する事項
技術委員会	技術の向上及び技術サービスに関する事項
広報委員会	広報及び機関誌・ホームページに関する事項

表 2 会議・委員会開催経過

総会	第 11 回:5 月 23 日
理事會	第 28 回:5 月 23 日、第 29 回:5 月 23 日、第 30 回:1 月 17 日
賀詞交歓會	1 月 17 日
正副会長會議	4 月 17 日、7 月 10 日、10 月 25 日、2 月 21 日
審査委員会	12 月 26 日、1 月 23 日
技術委員会	4 月 24 日、5 月 29 日、6 月 27 日、7 月 25 日、8 月 29 日、9 月 26 日、10 月 31 日 11 月 28 日、12 月 26 日、1 月 23 日、2 月 27 日、3 月 27 日
広報委員会	休止中

※正副会長會議を除きリアル+オンラインで開催。

## (2) 会員の異動状況

2024年3月末における会員の異動状況は次の通りである。

表3 会員移動状況

会員区分	期首	増加数	減少数	3月末
正会員	250	4	6	248
特別正会員	107	0	1	106
特別会員	9	0	2	7
賛助会員	33	1	0	34
合計	399	5	9	395

## (3) 役員補選

第11回定時総会で役員補選を行った。理事の新任・退任は表4の通り。総会後の第29回理事会で表5の通り副会長の選任を行った。

表4 理事の退任・新任

	新任		退任	
	理事	浅井康扶	浅井板金工業(株)	—
	石丸健三	(有)アイルーフ	黒澤武志	黒澤鋳金(株)
	田中豪治	元旦ビューティ工業(株)	岡部竜司	元旦ビューティ工業(株)
	原田俊史	月星商事(株)	石神貢	月星商事(株)
	半場大士	JFE日建板(株)	伊津野彰	JFE日建板(株)
	村田利道	北海鋼機(株)	角田洋一	北海鋼機(株)

表5 副会長の選任

会長	佐藤宏明	三晃金属工業(株)	
副会長	土嶋昌明	JFE鋼板(株)	
〃	平田敦	(株)淀川製鋼所	
〃	半場大士	JFE日建板(株)	新任
〃	山手紀隆	(株)細川工業	新任

※退任 伊津野彰(JFE日建板(株)) 出口保行(株)久忠

## 2. 安全対策事業

機関誌に以下の労務並びに安全関係記事を掲載した。

5月号:危険有害な作業を行う事業者は一定の保護措置が義務付けられます

10月号:令和6年4月1日から時間外労働の上限規制が適用されます

11月号:運輸防災マネジメントセミナーの荷主関係団体傘下会員への周知について

12月号:募集時などに明示すべき労働条件が追加されます

### 3. 調査研究事業

#### (1) 社会保険加入促進に関する周知活動の実施

社会保険の加入促進に向け、会員企業等からの問い合わせに対応した。

#### (2) 若年労働者育成に関する調査等

##### ① 中央職業能力開発協会への中央技能検定委員の派遣

建築板金(内外装板金作業)の中央技能検定委員として北村雄技術委員(三晃金属工業)、宮腰事務局次長を派遣した。

#### (3) 建設キャリアアップシステム(CCUC) 能力評価における金属屋根工事技士

金属屋根工事技士は建設キャリアアップシステムにおける能力評価基準(建築板金)において、「レベル 3」の保有資格の一つとして位置付けられている。

U P 能力評価基準【建築板金】		国土交通省
呼称		建築板金技能者
能力評価実施団体		(一社) 日本建築板金協会
CCUS職種コード		39板金工-01板金工
レベル4	就業日数	10年(2150日)
	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登録建築板金基幹技能者(00021)</li> <li>●優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)(91013)</li> <li>●1級建築施工管理技士(30007)</li> <li>●卓越した技能者(現代の名工)(94058)</li> <li>◇レベル2、3の基準に示す保有資格【必須】</li> </ul>
	職長経験	3年(645日)
レベル3	就業日数	7年(1505日)
	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1級建築板金技能士(10301,10311)</li> <li>●2級建築施工管理技士(30008)</li> <li>●青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(93013)</li> <li>●金属屋根工事技士(33078)</li> <li>◇職長・安全衛生責任者教育【必須】(60001,60011)</li> <li>◇レベル2の基準に示す保有資格【必須】</li> </ul>
	職長・班長経験	1年(215日)
レベル2	就業日数	3年(645日)
	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇アーケ溶接特別数値【必須】(50003)</li> <li>◇玉掛け技能講習【必須】(40040)</li> <li>◇高所作業車運転技能講習【必須】(40035)</li> </ul>
レベル1		建設キャリアアップシステムに技能者登録され、かつ、レベル2から4までの判定を受けていない技能者

※ ◇印の保有資格は、必須。●印の保有資格は、いずれかの保有で可。

#### (4) 特定技能外国人の受入れについて

##### ① 会員在籍証明書の発行

特定技能外国人を受け入れようとする企業は、JAC(建設技能人材機構)の賛助会員もしくはJACに加入した団体の会員である必要がある。このため、特定技能外国人の受け入れを計画している当協会の会員からの要請により、会員在籍証明書を発行した。3月末までの発行数は累計で55件。

#### (5) 金属屋根等に関する統計調査の実施

2021年度における金属屋根、粘土瓦、厚形スレート、化粧スレート、波形スレートの出荷量、並びに金属屋根・外壁素材の出荷量に関する調査を行った。調査結果については、ホームページ並びに機関誌12月号で公表した。

表6 各種屋根材の出荷動向・面積比較(単位:千㎡)

年度	金属	セメント瓦	波形スレート	粘土瓦	化粧スレート	合計	金属比率
2000	72,603	9,713	10,200	76,218	31,234	199,968	36.3%
2001	71,261	8,317	8,230	72,046	28,161	188,015	37.9%
2002	66,920	7,562	7,088	69,844	24,110	175,524	38.1%
2003	67,125	7,530	6,718	68,280	25,748	175,401	38.3%
2004	70,142	4,999	7,332	58,892	22,183	163,548	42.9%
2005	82,881	7,149	5,646	57,353	22,711	175,740	47.2%
2006	83,573	6,395	4,698	55,521	20,465	170,652	49.0%
2007	69,836	4,136	3,890	44,372	18,788	141,022	49.5%
2008	54,661	1,941	3,061	38,957	17,078	115,698	47.2%
2009	44,687	2,148	2,176	38,186	15,525	102,722	43.5%
2010	48,663	2,137	2,281	32,588	16,202	101,871	47.8%
2011	51,774	956	2,252	34,123	16,713	105,818	48.9%
2012	55,135	1,125	2,136	33,572	16,975	108,943	50.6%
2013	57,918	1,039	1,716	31,197	17,582	109,452	52.9%
2014	64,009	734	1,586	28,413	16,799	111,541	57.4%
2015	55,468	548	1,684	24,813	15,844	98,357	56.4%
2016	66,309	607	1,506	22,528	16,197	107,147	61.9%
2017	66,655	599	1,384	19,410	15,667	103,715	64.3%
2018	61,073	790	1,698	19,384	15,658	98,603	61.9%
2019	56,624	835	1,416	18,488	15,876	93,239	60.7%
2020	50,228	1,321	1,032	16,924	13,222	82,727	60.7%
2021	50,065	1,158	851	15,625	12,617	80,316	62.3%

\*金属屋根材、波形スレート、粘土瓦の面積は換算値。換算値は当協会の推計。

#### 4. 審査事業

##### (1) 金属屋根工事技士技術審査

2023年12月2日(土)に札幌、仙台、東京、大阪、福岡の5会場で実施した。可否の判定は1月開催の審査委員で行い、2月下旬までに受験者に通知した。

表7 金属屋根工事技士技術審査


地区	会場	申込者数	受験者数	合格者数・率(%)	
札幌	自治労会館	6	6	5	83.3
仙台	建設会館	7	6	5	83.3
東京	鉄鋼会館	16	15	12	90.0
大阪	科学技術センター	52	50	45	90.0
福岡	朝日ビル	10	10	9	90.0
合計		91	87	76	87.4

## 5. 施工管理事業

### (1) 金属屋根工事技士「更新講習会」の開催

2023年度の「更新講習会」の開催をオンラインで開催する。資格者以外を対象とした金属屋根講座も開催する。受講申込みは2月1日～2月29日。講習は3月1日～3月31日の間、受講可能とする。

表 8 2022年度 講習内容

メインテキスト：『風と金属屋根』第3版 ① 木質梁(集成材)におけるタイトフレームの確認試験 ② かん合立平ぶきの耐風圧性試験(木造・鉄骨造) ③ 折板屋根カバー工法での接合部確認試験 屋根を調べる 2024 を配布			
資格更新申込み	290名	更新受講済み	261名
屋根講座申込み	22名	講座受講済み	18名
申込み計	312名	受講計	279名

\* 申込み数・受講数は2024年4月15日現在

## 6. 品質管理事業

### (1) 新しい技術資料に関する検討

技術委員会では2025年度での発行を目標に、新たな技術資料として『屋根改修工事の手引き』の改定作業を進めている。

### (2) 既存建築物における屋根ふき材の耐風診断・耐風補強技術評価に関する研究

国交省・国土技術政策総合研究所では、令和3年度～令和5年度の3年間にわたり「既存建築物における屋根ふき材の耐風診断・補強技術評価に関する研究」を行っている。

- ① 昨年度の木造下地に続いて本年度は鉄骨下地の横ぶき屋根の耐風圧性試験とねじの端切れ試験について技術委員会が協力した。打合せ、試験等の実施は以下の通り。
- #4月24日(月):2023年度の試験計画について @技術委員会と併催
  - #5月29日(月):2023年度の試験計画について @技術委員会と併催
  - #6月27日(火):試験体の選定等について @技術委員会と併催
  - #7月11日(火):建材試験センターを含めた打合せ @事務局+オンライン
  - #7月25日(火):試験体等の打合せ @技術委員会と併催
  - #9月27日(火):試験仕様書・作業分担等の確認 @技術委員会と併催
  - #10月10日(火):建材試験センターを含めて試験内容等について@事務局+オンライン
  - #11月21日(火):既存屋根の調査・診断について@事務局+オンライン
  - #11月28日(火):試験内容の確認と既存屋根の調査診断について @技術委員会と併催
  - #12月4日(月)、5日(火):試験体組立 @三生技研

#12月18日(月)、19日(火):横ぶき屋根耐風圧性試験・ねじ端切れ試験 @建材試験センター

#1月26日(金):ねじ端切れ試験 @建材試験センター

#3月27日(水):診断時の調査・診断手法について @技術委員会と併催

② 既存の金属屋根の耐風2次診断時の調査・診断手法に関する情報の整理作業を行っている。

#### (4) 計算ソフト『屋根を調べる2024』の作成

『屋根を調べる2024』を作成する。2024版での改正点は以下の通り。

#「風圧力算定ソフト2022」での計算結果シートにおける、レベル係数の表記のずれを修正した。

本ソフトの内容は以下の通り。

①風圧力算定ソフト ②積雪荷重算定ソフト ③屋根性能計算ソフト ④工事管理報告書作成ソフト

⑤風荷重関連基準解説書(PDF) ⑥屋根ふき材の構造計算解説書(PDF)

屋根性能計算ソフトでは、以下の計算を行うことができる。

表9 屋根性能計算ソフト内容

耐風強度計算	耐積雪強度計算	性能確認計算
折板強度(連続梁)	折板強度(連続梁)	熱貫流率計算
折板強度(単純梁)	折板強度(単純梁)	断熱性能計算(日射吸収)
折板強度(軒先)	折板強度(軒先)	断熱性能計算(放射冷却)
接合部材・接合部耐風強度	接合部材積雪強度	結露計算
タイトフレーム溶接強度	雪止め金具取付間隔	室内温度上昇計算
パラペット下地強度	母屋・垂木強度	屋根材の熱伸縮量計算
雨とい取付金具強度	野地板強度	透過損失計算
母屋・垂木強度		騒音伝達計算
野地板強度		といの排水量計算
ファスナー取付強度		軒先流層高さ計算
横葺き吊子の引抜強度		
縦葺きの耐風強度(SSR07 ベース)		
横葺きの耐風強度(SSR07 ベース)		

#### (5) 国交省『建築工事標準仕様書』の改定への対応

仕様書・第13章「屋根及びとい工事」における金属屋根に係る箇所の改定作業に技術委員会が対応している。改定版は令和7年度版として発行される予定。

#### (6) 金属屋根に関する技術情報の提供

会員内外を含めて、金属屋根・外壁の設計・施工にかかわる問合せが増加していることなどに対応するため、機関誌並びにホームページに以下の事項を掲載した。

##### ① 機関誌公表分

\* 金属屋根・外壁 事始⑤ とい

\* 屋根の改修に関する建築基準法の取扱いについて(技術的助言)

\* FP030RF-9325/9326 における梁の耐火被覆の記述について

\* SSR における折板屋根の設計体系と建築基準法上の位置付け

\* 計算ソフト「屋根を調べる」にまつわるあれこれ

- \*『風と金属屋根- 第3版-』
- \*庇が負担する風荷重の考え方

② ホームページ公表分

- \*屋根の改修に関する建築基準法の取扱いについて(技術的助言)
- \*「FP030RF-9325」および「FP030RF-9326」における梁の耐火被覆の記述について

(7) 『風と金属屋根・第3版』『LLM2017』、『MSRW2014』、『SSW2011』並びに『SSR2007』の普及  
 会員等からの内容に関する問い合わせに事務局、技術委員会が対応した。

7. 断熱事業

2023年度は、新耐火構造認定として、「H1750 シリーズ(3 案件)」と「H0930-1 山シリーズ(3 案件)」の「計6 案件」を試験を伴わない屋根 30 分耐火構造認定の全ての行政手続きを完了、新認定番号(新規枝番)を2023年9月および10月に取得した。また、「認定書の写し発行・管理システム」に同6認定を反映させ、認定書の写し発行業務を2023年11月8日より開始した。これ以外には、更なる新認定取得へ向けた検討などを中心に取り組んだ。

(1) 運 営

事業の円滑な執行を図るため、断熱亜鉛鉄板委員会内部に幹事会、技術分科会を設け活動を行っている。コロナ影響下にて、分科会はリアル+WEB 開催で実施した。

表 10 幹事会・分科会等の開催状況

	総会	幹事会	技術分科会	備考
4月			26日(リアル+WEB)	
5月	23日		22日(リアル+WEB)	
6月			26日(リアル+WEB)	
7月			26日(リアル+WEB)	
8月				
9月			4日(リアル+WEB)	認定番号取得(3案件)
10月			2日(リアル+WEB)	認定番号取得(3案件)
11月			6日(リアル+WEB) 30日(リアル+WEB)	8日:認定書の写し 発行・管理システム運用開始
12月			21日(リアル+WEB)	
1月			29日(リアル+WEB)	
2月				2日:講習会用追加動画撮影
3月		18日(書面配信)	6日(リアル+WEB)	1日~31日:大臣認定説明会・ ID取得講習会開催(WEB)

今年度中の委員会・会員の異動状況は以下の通り。

表 11 委員会・会員異動状況

会員区分	期首	増加	減少	3月末
正会員	85	0	0	85
賛助会員	12	1	0	13
合計	97	1	0	98

## (2) 耐火構造認定の取得

試験を伴わない耐火認定として以下の 6 案件で新認定番号を取得した。

- ① (旧)H1750S : FP030RF-1989 ⇒ (新) FP030RF-1989-1
- ② (旧)H1750W(GW10 kg) : FP030RF-1799-2 ⇒ (新) FP030RF-1799-3
- ③ (旧)H1750W(GW16 kg) : FP030RF-1879-2 ⇒ (新) FP030RF-1879-3
- ④ (旧)H0930S-1 山(ガラス) : FP030RF-0925 ⇒ (新) FP030RF-0925-1
- ⑤ (旧)H0930S-1 山(ポリ) : FP030RF-1496 ⇒ (新) FP030RF-1496-1
- ⑥ (旧)H0930W-1 山(GW10 kg) : FP030RF-1927 ⇒ (新) FP030RF-1927-1

## (3) 認定書発行管理体制の整備

### ① 大臣認定書発行管理システムの開発と運用

2009 年 4 月から電子媒体で運用している発行管理システムに、新たに取得した認定を加え、材料と構造の合計 26 認定(枝番の認定は一つとカウントする)について運用をしている。

### ① 認定書の発行業務

委員会の発行する認定書は、従来認定(5 件)は合本として、二重折板認定(7 件)と追加認定(14 件)については認定ごとに発行している。

2023 年度の認定書発行数は、86 通である。

## (4) 広報活動

2023 年度は、主に会員企業を対象に認定内容ならびに大臣認定書(写し)の発行管理体制の周知に努めた。また、建築専門誌等を通じた広報活動も行った。

### ① 認定内容の説明会ならびに ID 取得講習会

会員企業を対象にして、二重折板認定・従来認定・追加認定の内容、および 2023 年度の新規取得番号(新規枝番)についての説明会を開催した。説明会は WEB 配信(動画 2 本、計 90 分程度)にて実施した。

動画視聴後に配布(参考)資料にアクセスしプリントアウトできるようにした。視聴期間は 3 月 1 日～3 月 31 日とし、全国で大臣認定説明会の視聴者は 18 名、ID 取得講習会の視聴者は 10 名であった。ID 取得講習視聴者には後日、認定書発行申請用の ID 並びにパスワードが交付される。

### ② ホームページの運営

防火・耐火認定内容、認定範囲拡大内容、並びに会員名簿の修正を実施した。

今年度はホームページ更新として、防耐火認定の内容、並びに会員名簿の修正を実施した。



③ 日経アーキテクチュア（日経 BP 社）への広告掲載

同誌 2023 年 10 月号・別冊特集『美しい屋根 2023』に委員会が取得している大臣認定一覧と認定書（写し）の発行管理状況を紹介した。

④ 協会機関誌（施工と管理）へ以下の記事を掲載した。

- ・断熱亜鉛鉄板委員会による耐火認定の認定範囲拡大について
- ・断熱亜鉛鉄板委員会 認定書写し発行システム

(5) 品質の維持・向上

一般ユーザーおよび会員からの防火・耐火認定の形状・寸法・材質などの品質に関する各種問い合わせに対応した。

(6) その他

他団体との交流

委員会は、断熱亜鉛鉄板に関する各種情報を得ることを目的に、主に次の団体と交流している。

- ・防火材料等関係団体協議会  
2024 年 2 月 16 日:建材試験センター中央試験所における新耐火棟の合同視察会実施。
- ・防火工法推進協議会

8. 広報事業

(1) 機関誌「金属屋根 施工と管理」の発行

機関誌の発行に際しては、その充実に努めている。機関誌は会員のほか官公庁・設計事務所・総合工事業者等にも送付している。

2023 年度の特集記事は次の通りである。

表 12 機関誌特集記事

号	タイトル	執筆者等
'23 年 4 月号	金属屋根・外壁 事始⑤ とい	技術委員会
5 月号	屋根の改修に関する建築基準法の取扱いについて(技術的助言)	国交省
6 月号	FP030RF-9325/9326 における梁の耐火被覆の記述について	技術委員会/事務局
7-8 月号	SSR における折板屋根の設計体系と建築基準法上の位置付け	技術委員会/事務局
9 月号	計算ソフト「屋根を調べる」にまつわるあれこれ	技術委員会/事務局
10 月号	断熱亜鉛鉄板委員会による耐火認定の認定範囲拡大について	断熱亜鉛鉄板委員会
11 月号	断熱亜鉛鉄板委員会 認定書写し発行システム	断熱亜鉛鉄板委員会
12 月号	最終報告書/技能実習生・特定技能制度の在り方に関する有識者会議	—
'24 年 1 月号	『風と金属屋根- 第3版-』	技術委員会/事務局
2 月号	労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針	内閣官房 公正取引委員会
3 月号	庇が負担する風荷重の考え方	技術委員会/事務局

## (2) ホームページの運営

協会ホームページは、2002年2月1日より正式に公開している。2023年度は、1ヶ月に1回程度のペースで更新を行った。2023年度は22万強のアクセスがあった。ホームページの主な内容と更新状況は以下の通り。

表 13 ホームページ

主な内容と更新状況	
① トップページ…掲載写真を更新	⑤ テクニカルレポート…2件の技術レポートを追加
② 金属の屋根と外壁を知る…従来通り 環境配慮型屋根 屋根と外壁のかたち 屋根と外壁の素材 プレコート鋼板の現在 設計/維持管理	⑥ 講習会・試験のお知らせ…随時見直し ⑦ 金属屋根工事技士制度の紹介…従来通り ⑧ 工事管理報告書…従来通り ⑨ 出版物案内…紹介図書の修正。 ⑩ 統計…内容更新 ⑪ 施工写真集…従来通り ⑫ 用語集…従来通り
③ 0.4mmの超軽量テクノロジー…従来通り	⑬ あの屋根・この屋根…従来通り
④ Pickup…従来通り 鋼板製外壁材 飛来物耐衝撃性試験 スレート屋根改修のご提案 折板屋根にできること 屋根ふき材の構造計算…従来通り 建築物における天井脱落対策	⑭ 銅屋根クロニクル…12件の記事を追加 ⑮ 会員名簿…随時見直し ⑯ 協会の情報公開…2023年度の内容に更新
新たにアップしたページ	
① 2023年度講習会関連ページ	

表 14 アクセス数(2002/2～2024/3)

	アクセス数
2002/2～2023/3	3,562,020
2023/4～2024/3	226,392
計	3,788,412

## (3) 建築系工業高校への広報活動

2007年9月号より金属屋根に対する理解促進等を図るため、全国の建築系学科を有する工業高校への機関誌の配布を行っている。

## (4) 書籍等の頒布

以下の書籍等について会員及び一般向けに頒布を行った。

- ①初めて学ぶ・もう一度学ぶ 金属の屋根と外壁 LLM2017 ②鋼板製屋根・外壁の設計・施工・保全の手引き MSRW2014 ③計算ソフト「屋根を調べる」 ④金属屋根の施工と管理—改訂4版—  
⑤鋼板製外壁構法標準 SSW2011 ⑥鋼板製屋根構法標準 SSR2007 ⑦風と金属屋根—第3版—

## 9. その他

### (1) 建設マスター・ジュニアマスターの推薦

建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事している方の中から、特に優秀な技能、技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を国土交通大臣が顕彰する優秀施工者(建設マスター)と技術・技能が優秀であり、将来一層の活躍が期待される方を不動産・建設経済局長が顕彰する青年優秀施工者(建設ジュニアマスター)の推薦を行った。

2023年度は以下の方が受章した。当会としての受章者は建設マスターが75名、ジュニアマスターが16名となった。

#### 【マスター】

石丸健三	(有)アイルーフ	大阪府
村田 健	村田金属(株)	熊本県

#### 【ジュニア】

加藤聖也	YOKOBAN(株)	岐阜県
木田貴広	(有)木田板金	石川県

以 上